

陸自ヘリで御殿場上空を体験飛行



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之）等陸佐）は、3月11日（土）、陸上自衛隊東部方面ヘリコプター隊（立川駐屯地）・教育支援飛行隊（滝ヶ原駐屯地）等の協力を受け、滝ヶ原場外離着陸場（御殿場市）でUH-1J型ヘリコプターの体験搭乗を行った。これは、自衛隊に関心のある方や協力者等を対象に行われ、50人が参加した。

参加者は、当日の飛行経路や安全ヘルムの装着要領、非常時の対応について説明を受けた後、誘導員の指示のもとヘリコプターに乗り込んだ。御殿場市内上空を約900mの高度で約15分間フライトし、自宅を探したり、上空から見る箱根山や市街地の様子を満喫していた。

その後、教育支援飛行隊が保有している同型のヘリコプターや自衛隊が保有する消防車等の展示・説明を受けるとともに、ヘリの操縦席に座ってパイロット気分を楽しんだり、装備品について質問をする等、各人が自衛隊に対する関心を高めていた。

静岡地本は、今後もこのような体験・実感する機会を積極的に活用し、自衛隊の魅力をより深く知ってもらうとともに、自衛隊に対する協力基盤の強化に努め、上空から見た美しい日本を守っていく。

陸自ヘリで空中散歩



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之）等陸佐）は、3月11日（土）に滝ヶ原場外離着陸場（御殿場市）で行われた陸上自衛隊の多用途ヘリコプター「UH-1J」の体験搭乗を実施した。

この体験搭乗は、自衛隊に関心のある方や協力団体の会員等に自衛隊に対する理解を深めてもらうために行われ、県内各地から50人が参加した。

まず、格納庫内でヘリコプターに乗る際の注意事項等の搭乗前教育を受けた後、自衛隊の最新の消防車や、搭乗するヘリと同型のヘリコプター等を間近で見学すると、普段見ることのできない装備品に関心を寄せ、操縦席等で思い思いに記念撮影をしていた。

その後、グループごとヘリコプターに搭乗し、約15分間、御殿場市上空約900メートルの空中散歩を楽しんだ。

参加者たちは「貴重な体験が出来た」「普段目にすることも稀な自衛隊のヘリコプターに乗ることが出来て本当に良かった」と話し、とても好評であった。

静岡地本は、今後も体験・参加型の各種機会を活用し、自衛隊への理解・関心を深めてもらうとともに、上空から見た美しい日本をいつまでも守れるように防衛基盤の強化に努めていく。